



シャイン・オン!キッズ

小児がん、重い病気と闘う子どもたちと
家族の支援のために

シャイン・オン!キッズとは

2006年に東京都で特定非営利活動法人タイラー基金として発足。2歳の誕生日前に亡くなったタイラー君の両親が設立した団体です。つらい白血病闘病生活でも笑顔を決めなかったタイラーの勇気と、小児がんの子どもを持った親としての自分たちの経験が、苦しみを背負っている小児がん患者の子どもたちとその家族のためにきっと役に立つにちがいない、ポジティブな何かを創造できるはずだ、という思いで設立された団体です。

2012年12月「認定NPO法人」を取得

優良な活動を行っているNPO法人として、東京都から「認定 特定非営利活動法人」（以下認定NPO）としての認定証を取得。認定NPO取得とともに、団体名称をタイラー基金から「特定非営利活動法人シャイン・オン・キッズ」と改名しました。

ゴール

質の高い日本の医療アドバイザー・チームの指導をいただきながら、シャイン・オン!キッズは以下の目標に向かって活動しています。

- ・ 小児がんや重い病気の子どもたちとご家族をカブける活動
- ・ 医療チームと治療の充実のための活動
- ・ 小児がんの認知を高める活動

シャイン・オン!プログラムとは

シャイン・オン!プログラムは小児がんの子どもたちの自尊心を保持し、強化することが狙いです。長引く入院生活（だいたい9か月から2年）は子どもたちを受け身に、何に対してもやる気を失いがちにさせます。しかし実際、彼らの心の中には、ほかの子どもたちと同じように、その人生を最大限生きたい、また独立したいという強い希望があります。シャイン・オン!プログラムは、ただ一方的なエンターテイメントを提供するのではなく、相互作用的な活動を通じて、子どもたちに自分自身の人生を創らせることができます。

自尊心は人間の全ての活動の中心です。それは人生の本質であり、子どもたちを輝き続けさせるものなのです。

ファシリティドッグ

目的：動物介助療法のため特別に訓練されたファシリティドッグとハンドラーが毎日病院の子どもたちを訪問することを通じて、治療結果や子どもたちのがん治療へのアプローチをより改善すること。

ファシリティドッグの大きな特徴は、病院など毎日同じ施設に勤務し、その施設での個々のニーズに合わせた活動を行えること、時々訪問して触れ合うという短い時間ではなく、多くの時間を同じ犬と繰り返し過ごしていただけることです。

勤務する施設のスタッフとして扱われ、患者との交流などを業務として行います。

2010年1月より静岡県立こども病院、2012年7月より神奈川県立こども医療センターにて開始しました。

- ・ 日本初、こども病院でフルタイムの動物介在療法
- ・ シャイン・オン!キッズが生後数か月からアメリカでトレーニングを受けたファシリティドッグ、ベイリーとヨギそして看護師資格のある森田優子と皆川誠一郎をハンドラーとして病院に派遣
- ・ 1人当たり15分から20分位のベッドサイドへの訪問に加え、様々な病棟のプレイルームを日常的に訪問



あなたにできること

シャイン・オン!キッズは個人からの寄付、あるいは法人からの寄付により成り立っています。あなたの寄付で、本当の違いを生み出すことができます。こちらのウェブサイトをご覧ください。

ビーズ・オブ・カレッジ®

目的：病気による苦痛を減らし、前向きな対処方法を増やすこと。また小児がんと闘う子どもたちが、病気の中に意味を見つけ、自分の中で、自我を回復できるようにすること。

概要：子どもたちは、彼らそれぞれの治療過程に沿って達成した治療を節目ごとに記念した色とりどりのビーズを、意味のある勇気の証として受け取る。それによって、子どもたちは自分の治療の過程を、自分自身の物語として語るができるようになる。



www.sokids.org

認定NPO法人 シャイン・オン!キッズ

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-3-6 ワカ末ビル7階

代表：03-6202-7262 email: info@sokids.org

Facebook: <http://www.facebook.com/sokids.org>